

わかすげ

目次

表紙	1
院長だより	2～3
感染症のお話	3
新職員紹介	4～5
平成27～29年度手術件数	5
検診センターからのご案内	6～7
訪問看護ステーションのご案内	8～9
外来診療日案内	10

基本理念

患者の権利を尊重し、
安全で心の通った医療
を提供します。

基本方針

公立野辺地病院は、北都上北の中核病院として地域住民の医療ニーズに応えるため、次の基本方針を定めます。

1. チーム医療、地域包括医療を実践し、良質であたたかい医療を行います。
2. 高度で安全かつ先進的な医療を行います。
3. 地域の医療機関と連携し、医療レベルの向上に貢献します。
4. 患者や家族と診療内容の情報を共有し、情報公開につとめます。
5. 自己評価につとめ、外部評価を尊重します。
6. 効率的な運営をはかり、健全経営につとめます。
7. 職員の就労環境を整備します。



当院は日本医療機能評価機構の病院機能評価で
認定された病院です



『最近の考えていること』



公立野辺地病院
院長 三上 泰徳

最近、新聞紙上に掲載されました平内中央病院や公立七戸病院との再編合併の件についてお伝えします。本当であれば、当院独自で昭和47年に建設された本館棟と昭和56年に建設された南棟の耐震問題とこれらの病棟の使用が時代の医療情勢に全く適していないなどのことから、最新の病院建設を目指すべきと10年ほど前は考えていました。しかし、この数年をみても、周辺人口の減少とそれにつれて患者さんの減少が顕著になってきていて、これに併せて病院を新築するにしても、非常に規模の小さい病院しか目指せないことがはっきりしてきました。これでは、非常に効率も悪く、また、国の地域医療構想からかなりずれていることがわかります。そこで、少し不便になりますが、今のこの地域の病院はすべて診療所に変更して、救急対応のできる新病院の設置場所を交通の要所に変更して、医療圏を拡大して3~4万人を対象にした病院を目指すべきと考えました。現状の病院は1万5千人程度を対象にしており、病院として採算性のとれた病院として生き残ることが非常に難しいと思います。しかも、夜間、休日の1次、2次救急のことを考えると、医師も十和田市立中央病院並の最低30人ほど必要です。西日本の病院では同じような規模の病院でも30人くらいの医師で病院が運営されていますが、青森県では本当に少ない医師数で日常業務をこなしています。さらに開業されている

医師達も減り、高齢化しています。当院の医師達も徐々に高齢化が進んでいます。大学からは研修医や若手のキャリア形成つまり専門医取得に何ら寄与しない地方の小病院勤務はかなり難しいのが現状です。県病も10年以内には青森市東部から市内中心部への移動も視野に入れていると聞いており、平内、野辺地あたりからのアクセスが少し不便になり、また、当然救急車の搬入も当然遅くなります。十和田市立中央病院がこの上十三地区の中核病院ですが、野辺地からは45分ほどかかります。それであれば、今は県病の救命センターを目指した方が医者にも患者にベターな選択となり、現状では県病へ連絡し、搬送受け入れをお願いしているのが現状です。しかし、将来、野辺地病院も診療所化し、地域に病院が無くなった場合には、上十三地区の中核病院である十和田市立中央病院にまず搬送することになり、必要時には三次救急病院である八戸市立市民病院に搬送されることが想定されます。しかし、野辺地町民にとって青森市での医療指向がつよく、自分たちの地域に病院があることで、現在のように、地域住民の急性期を救急対応してもらいながら、さらに高次医療を要する場合には県病に搬送する方法を目指すのが理想でしょう。ですから、町には病院経営の補助をしてもらいながら、今の場所でも、この地域に急性期を扱う病院の存続を選択した方がよいと考えます。

話は変わりますが、平成31年4月に公立の特養が民営化され、平成32年4月には当院の併設型老健も閉鎖され、民間に委譲されることになっています。このことから、最終的には野辺地病院は内科、外科、整形外科の急性期型（10：1）、回復期の地域包括ケア（13：1）、医療療養（20：1）を組み合わせで南棟の3病棟で運営されることになっています。現在は併設型老健も含めて4病棟で運営しています。最近、看護師が多忙で時間外労働も多く、精神的、肉体的余裕もなくなり、当院を辞めていく看護師が目立っています。新たに採用する看護師も少数なことから、現場の看護師不足に拍車を掛けております。また、数年後には20人ほどの看護師が定年を迎え、かなりの看護師が辞められます。その補充に目途がたちません。さらに不足している医師の時間外労働も顕著となり、救急体制の維持にも限界に達しています。このような理由から平成32年4月を待たずに、看護師の配置数が市中の一般の老健より多い併設型老健をなくし、看護師を含めた医療従事者の負担を少しでも減らさなければならない状況

となってきました。この数年で、平内中央病院や公立七戸病院の夜間、休日の救急体制がほぼ崩壊しかけており、当院も含めて十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院などの負担が増えているようです。実際、少ないながらも平内町、旧七戸町や旧上北町などからも救急車の受け入れ依頼がきます。しかし、当院では先述したとおり看護師不足、臨床検査技師不足、医師不足などから、今後は当院でできる範囲内での対応をすることにしており、本年5月から、夜間・休日の北部上北地域外の救急車による患者さんの受け入れをやめることにしました。このことで多少なりとも医療従事者の負担軽減を図りたいと思っています。今は、病院として、救急対応をしながら、最低規模で生きながらえているような状況です。これ以上、規模を縮小すれば、病院としての機能を失うばかりか、採算性が全く取れないなどから、早晚2回目の破綻を迎えることになります。不良債務はいったんなくなりましたが、また、発生していくのは必然です。

感染症のお話 ～ 麻しん（はしか）～

麻しんは一般的には**はしか**と呼ばれ、麻しんウイルスに感染して起こる急性の感染症です。麻しんウイルスは感染力が非常に強く、空気を介して人から人へ簡単に感染するため手洗いやマスクだけでは予防出来ません。麻しんの免疫力が不十分な人が感染すると高い確率で発症します。発症すると高熱や全身の発疹、咳、鼻水、眼の充血などの症状が出ます。**麻しん（はしか）を予防する最も有効な方法はワクチン接種です。**

2回目の接種で99%以上の人に免疫が得られます。2回接種していない場合は予防接種を検討してみたいかがでしょうか。定期接種の対象年齢者（1才児、小学校入学前1年間の幼児）は麻しん、風疹混合ワクチンを定期の予防接種として受ける事が出来ます。また、麻しんにかかったかどうかやワクチン接種歴が不明の場合は、当院で抗体検査を実施していますのでご相談ください。

医療安全対策室 感染管理 技師長 阿部 浩

平成30年度 新職員の紹介

整形外科副医長

古川 正和

1. 出身大学 弘前大学
2. 卒業年度 平成27年度
3. 趣味 マラソン
4. 野辺地病院の印象 優しい、温かい、落ちついている。
5. 一言（抱負等） 若輩者ですが、精いっぱいやらさせていただきます。



看護師

二木 幸恵

1. 出身地 七戸町（旧天間林村）
2. 趣味 子育て
3. 一言（抱負等） 笑顔とあたたかい雰囲気、安心して療養できる空間を提供していきたいです。



看護師

工藤 和佳子

1. 出身地 七戸町
2. 趣味 野球観戦
3. 一言（抱負等） いち看護師として自覚と責任を持ち、日々精進します。



看護師

伊藤 唯

1. 出身地 青森市
2. 趣味 漫画を読むこと
3. 一言（抱負等） 早く一人前の看護師となり、皆様のお役に立てるように頑張ります。



社会福祉士

有馬 唯

1. 出身地 青森市
2. 趣味 音楽鑑賞
3. 一言（抱負等） 皆様のお役に立てるように頑張ります。よろしく申し上げます。



社会福祉士

風 穴 剣 汰

1. 出身地 野辺地町
2. 趣味 スポーツ観戦
3. 一言（抱負等） 地元之恩返しができるよう頑張ります。
よろしくをお願いします。



主 幹

高 橋 修 作

1. 出身地 六ヶ所村
2. 趣味 ピアノ
3. 一言（抱負等） 採用から18年経過し始めて病院配属となりましたが、
初心を忘れず、日々の業務に励みたいと思います。
どうぞよろしくをお願いします。



主 査

荒 谷 一 文

1. 出身地 野辺地町
2. 趣味 テニス
3. 一言（抱負等） 早く仕事を覚え、皆様をサポートできるよう頑張ります。



主 事 補

蛭 澤 優 一

1. 出身地 野辺地町
2. 趣味 バスケットボール
3. 一言（抱負等） 仕事を覚え、みなさんの役に立てるよう努力していきたい
と思います。



平成27～平成29年度 手術件数

期 間	手 術 件 数
平成29年4月～平成30年3月	513 件
平成28年4月～平成29年3月	501 件
平成27年4月～平成28年3月	494 件



検診センターからのご案内



自覚症状が出る前に定期的に健診を受けて、早期発見、早期治療で自分の身体を守りましょう。
(料金はすべて税込表示です)

日帰り人間ドック

一般的な健康診断に比べ、人間ドックの方が検査項目がより専門的になり、種類も多くなります。より総合的に精密な検査を受けたい方にお勧めします。

検査内容	身体計測 視力 聴力 血圧 血液検査(貧血・肝機能・腎機能・脂質・血清・血糖) 尿検査 便検査 眼圧 心電図 胸部X線 腹部超音波 胃の検査(透視または内視鏡) 診察
検査日時	月曜日～金曜日 午前8時15分～(所要時間: 3時間程度)
料金	29,700円

宿泊人間ドック

大腸検査などを加え日帰りドックを更に充実させたものです。

検査内容	日帰りドックの内容に大腸検査(シグモイド) 肺機能 眼底 糖負荷検査が加わります
検査日時	月曜日～木曜日 午前8時15分～翌日午前11時
料金	55,404円

※ 日帰り人間ドック及び宿泊ドックに追加できる検査

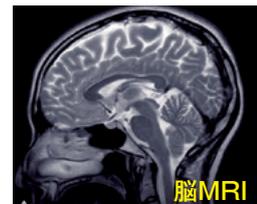
- ◆ 眼底検査(宿泊ドックには含まれています) 2,419円
- ◆ 前立腺がん検査(PSA・血液検査) 1,890円
- ◆ 子宮がん検診・卵巣がん検診(水・木曜日) 9,396円
- ◆ 骨密度検査 3,000円



脳ドック

脳ドックは脳血管疾患(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)、認知症などの早期発見および防止を目的としています。MRI(磁気共鳴撮影装置)の画像診断を主な検査とする一連の検査で、痛みを伴わないで安心して受けられます。

検査内容	身体計測 血圧 血液検査 動脈硬化(ABI) 頭部MRI・MRA(頭頸部の血管撮影)
検査日時	月曜日～金曜日 (所要時間: 2時間程度)
料金	27,000円

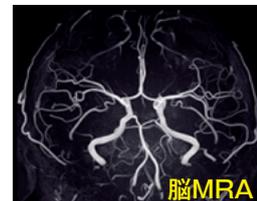


脳MRI

脳検診

頭部MRI・MRAだけの検査によって脳及び頭頸部血管の病変を検索する簡易的な脳の検診です。

検査内容	頭部MRI・MRA(頭頸部の血管撮影)
検査日時	月曜日～金曜日 (所要時間: 1時間程度)
料金	20,000円

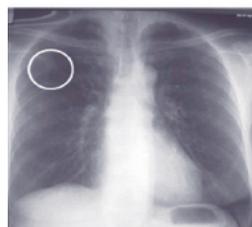


脳MRA

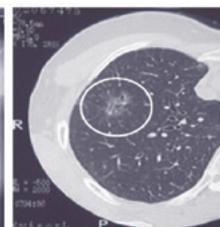
肺がんドック

肺がんは無症状で進行することが多く、早期診断・治療が最も必要となる疾患です。肺CT検査はレントゲンよりも更に小さな病変や淡い陰影を描出でき、肺がんの早期発見にかかせない検査です。

検査内容	胸部CT検査 喀痰細胞診検査
検査日時	月曜日～金曜日 午後1時～午後3時 (所要時間: 30分程度)
料金	10,800円



胸部レントゲン写真



早期肺がんのCT写真

乳がんドック

最新の撮影方法で行っています。乳腺の発達している乳房も鮮明に写します。

検査内容 3Dマンモグラフィ検査 乳房・甲状腺超音波検査

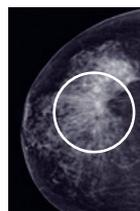
対象となる方 30歳以上の女性 但し、下記の方は外科外来を受診してください。

- ◆ 健康診断などで精密検査が必要な方
- ◆ 自覚症状（乳頭分泌・しこり・くぼみ・ひきつれ等）がある方
- ◆ 乳がんの手術を受けたことがある方
- ◆ 現在、授乳中の方

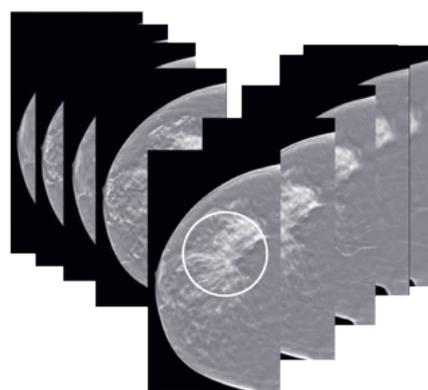
検査日時 月曜日・木曜日（各5名まで）
午後1時～午後4時（所要時間：1時間程度）

料金 12,960円

※ 両検査とも専門の女性技師が行っていますので
安心して気軽に検診を受けられます。



従来の写真



3Dマンモグラフィの写真

骨密度検査

こつそしょうしやう
骨粗鬆症の診断や治療による評価等のために、高性能の骨密度測定装置に更新しました。

検査内容 腰椎、大腿骨の部分測定

対象となる方 女性の40歳以上、男性の70歳以上の方は、ぜひ検査を受けられることをお勧めします。

検査日時 (1)人間ドックのオプションの場合：人間ドックの予約日
(2)単独での検査の場合：平日の午後1時から

料金 (1)人間ドックのオプションの場合：3,000円
(2)単独での検査の場合：4,000円



高性能骨密度測定装置

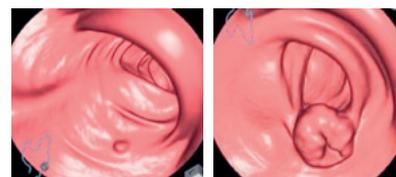
大腸CT検査

最新のCTを使用した新しい大腸検査で、CT大腸検査はCTコロノグラフィ（CTC）と呼ばれ欧米では一般的に行われています。大腸をガスの注入によって拡張させ、最新のマルチスライスCT装置を用いて撮影します。撮影で得られたデジタル画像データを用いることで、多彩な大腸の3次元画像表示が可能です。

検査内容 CTC：バーチャル内視鏡検査

検査日時 月曜日～金曜日 午前8時30分～（所要時間：1時間程度）

料金 21,600円



ポリープ5mm

大腸がん

◇お申込みに際しての留意事項

心臓ペースメーカーを装着している方・体内に金属が入っている方などは、お受けできない検査もありますので、事前にご相談ください。

◇申込み方法について

予約制とさせていただきますので、お問い合わせいただくか、検診センターまで直接お越しください。ご予約が決まりましたら、必要な書類などをお渡し（または郵送）いたします。

※ご都合により予約の変更・取り消しをされる場合には、お早めにご連絡ください。

◇検査結果について

後日、ご自宅に郵送いたします（おおよそ2週間程度かかります）。

◆人間ドックのほか、各種健康診断も行っています。電話または窓口でお気軽にご相談ください。

予約・お問い合わせ TEL：0175-64-3211 受付時間 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：0175-65-1119 午前8時15分～午後5時

訪問看護ステーションのご案内

訪問看護ステーションとはどんなところ？

訪問看護とは、自分の家で療養したい、家族と一緒に暮らしたいという思いを大切に、その人らしく自宅で生活出来るように看護師がご自宅に伺い、医師の指示のもと医療的な処置、療養生活の指導やお手伝い、リハビリなどを行うことです。

訪問看護ステーションは、平成25年10月に開設してから今年度で6年目を迎えます。管理者を含め4人の看護師で構成しており、野辺地町、横浜町、六カ所村、東北町、七戸町、平内町まで訪問し活動しております。



現在は介護・医療保険の計35名前後の利用者で、1か月の延べ訪問回数は昨年度で月平均167件となっています。

利用者は、病気や障害のために療養生活の支援が必要な方、癌末期などの終末期ケアや看取りを考えている方など小児から高齢者まで、主治医が訪問看護の必要性を認めたすべての方を対象としており、当院以外の病院からも依頼を受けております。また、当ステーションは、精神科訪問看護の依頼はまだありませんが対応することは可能です。

訪問看護サービスは、**24時間対応体制**、自宅以外（グループホーム、有料老人ホーム等）でも、在宅療養に備えた外泊先でも行っております。営業日は平日8：15～17：00ですが、休日にご相談に応じ、主治医と連携し対応しております。

費用については、介護保険が優先されますが、医療保険でサービスを受ける場合もあります。詳細については、当ステーションにご相談ください。



当ステーションは、住み慣れた地域や家庭で安心して療養できる

の：のんびり **へ**：平穩に **じ**：自宅で療養できる

をモットーに訪問看護を行っています。

○主な看護サービス内容

病状や健康状態の
観察、栄養指導

日常生活の支援・指導
(口腔ケア、入浴介助、排泄ケア)

点滴の管理
輸液ポンプの管理

床ずれの予防・処置
人工肛門のケア

医療処置や医療機器の管理
(膀胱留置カテーテル、在宅酸素
人工呼吸器など)

緩和ケア
終末期ケア

看取り

拘縮予防やリハビリ

(精神科看護)

最近では、終末期ケア、点滴管理などが増えており、看取りも7例経験いたしました。身体拘縮の予防は訪問リハビリと連携を取りつつ、また、口腔ケア及び口腔機能訓練は、歯科医師や歯科衛生士と相談しながら行っております。

訪問依頼がある時は入院先の病院まで伺いカンファレンスを行い、安心して退院していただけるよう準備いたします。また、利用者の状況を毎日のカンファレンスで、スタッフ全員が情報共有し、24時間対応に備えております。研修会参加し定期的な学習の他に、医療機器などは使用前の学習会を必ず行い、安全に心掛けております。

看護師の平均年齢は高いですが、経験豊富で専門的な看護技術を身に付け、明るく、笑顔で信頼のもとにご本人・ご家族様の不安や悩み等に相談対応させていただいております。

私たちは地域医療連携室、主治医、歯科医師、栄養士、歯科衛生士、理学療法士、認定看護師、ケアマネージャーなどの他職種とも連携し、チームワークで皆様の住み慣れた家での生活を応援いたします。

どうぞお気軽にご相談ください。

○お問い合わせ先 公立野辺地病院
訪問看護ステーション
TEL：0175-65-1085
FAX：0175-65-1086



外来診療日案内

受付時間	新患・再来 7:45 から 11:30まで (これ以外の受付時間は、各科の備考に表示)
休診日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始 (12/29～1/3)

※診療科によって受付時間の変更、又は曜日による休診日がございますので、ご注意ください。

○印は診療日です。

平成29年10月1日現在

科名	診療日					診療開始時間	備考
	月	火	水	木	金		
内科	○	○	○	○	○	8:30	一般・禁煙外来
糖尿病外来		○			○	9:00	
循環器外来			○			9:00	受付時間 11:00 まで
小児科	○				○	10:00	受付時間 11:00 まで
						8:45	4ヵ月児健診：原則第1木曜日 受付 (8:15～8:45 まで) 診療 (8:45～10:00 まで)
						8:45	予防接種：予約制 受付 (8:15～8:30 まで) (原則 第1月・木曜日除く) 診療 (8:45～10:00 まで)
							※1歳6ヵ月児健診・3歳児健診は、院外での健診となります ※時間外・夜間・休日・入院の診療には対応できません ※小児科の対象者は、原則として中学生までとなります
外科	○	○	○	○	○	9:00	乳腺外来診療 受付 10:30 まで ストーマ外来 (予約制)
						9:30	火曜日のみ
整形外科	○	○	○	○	○	8:30	木曜日 新患受付 10:30 まで 再来受付 10:30 まで 木曜日以外 新患受付 10:30 まで 再来受付 11:00 まで 股関節脱臼検診 月～金 受付 10:30 まで
皮膚科	○		○	○		9:00	月・木曜日
						10:00	水曜日
産婦人科			○	○		9:30	新患受付 10:00 まで 再来受付は予約制となっております。(産科休診中)
耳鼻咽喉科		○			○	8:30	火・金曜日 受付時間 11:00 まで
眼科	○	○		○		9:00	月・火曜日 受付時間 11:00 まで
						14:00	木曜日 受付時間 14:00 まで
脳神経外科			○			13:30	受付時間 14:30 まで
泌尿器科					○	9:00	受付時間 11:00 まで
歯科口腔外科	○	○	○	○	○	8:45	新患受付 11:30 まで 再来は完全予約制
検診センター	○	○	○	○	○		一般健診・各種ドック (予約制)

※紹介状をお持ちの方へ

予約専用電話 (地域医療連携室 0175-64-8877) で診察予約ができます。

受付時間 8:30 から 16:30 まで 予約は前日までにお願いします。

北部上北広域事務組合 公立野辺地病院

〒039-3141 青森県上北郡野辺地町字鳴沢9番地12

電話(代) 0175-64-3211 FAX 0175-64-5590 (地域医療連携室・医事グループ)

平成30年6月発行 広報「わかすげ」第30号

●発行／北部上北広域事務組合 公立野辺地病院

〒039-3141 青森県上北郡野辺地町字鳴沢9-12

●印刷・製本／青森コロニー印刷

